

交野市教委ニュース

第104号 (平成30年9月5日発行)

「英語の日」とは学園内の児童・生徒がALTと一緒に英語だけを使って活動と交流をする日です。

英語の日 (交野が原学園の取組み)

8月29日(水)、いきいきランド交野において、「英語の日」の取組みが行われました。

英語の日 活動の様子



前半は、交野が原学園の交野小学校・長宝寺小学校の4年生111名が英語を使った活動を行いました。交野市のALT5名による説明の後、英語を使って楽しくゲームを行いました。まず、カード交換ゲームでは、名札に書かれたフルーツマークを手がかりに、同じマークの友だちを探し、英語で書かれた自己紹介カードを交換しました。次に、伝言ゲームでは、英語の内容を伝えるだけでなく、伝わる速さも競い合い、大いに盛り上がりました。最後に、ジェスチャーゲームでは、大きな動作や声で「hungry(お腹がすいた)」「happy(うれしい)」などの感情をグループの友だちに伝え、答えを言い合いました。

また、このジェスチャーゲームでは、交野市立第一中学校の生徒会執行部の8名と先月行われた英語弁論大会に出場した第一中学校代表の3名も参加してくれました。

交野が原学園は、英語を通じて、学校の枠を超えた楽しい時間をもつことができました。

弁論大会



後半は、今年度英語弁論大会に参加した小学生と中学生が、4年生児童の前で、英語のスピーチを披露してくれました。また、第一中学校の生徒会執行部が司会進行をしてくれました。一つ上の先輩、小学5年生の発表から始まり、中学3年生までの英語でのスピーチをみんな真剣に聞いていました。わからない単語や難しい言葉を、発表してくれた先輩の表情や、少しでも自分の知っている単語から、スピーチの内容を推測し、想像しながら聞いていました。そして、何より、自分たちの先輩が、みんなの前で堂々と英語でスピーチをする姿に尊敬と憧れの想いを持つことができました。

良い刺激を受けた交野が原学園の4年生は、これからもいろいろな人たちと関わり合いを持ちながら、楽しく学んでいきます。「英語の日」は、交野市すべてのALTやこれから中学校で出会う友達と交流することができ、とても貴重な体験となりました。これからも小中一貫教育へ向けて、実際に子どもたちが英語を使いながら学んでいく取組みを更に進めていきます。